

「しあわせトークカフェ」で2016年をしめくくりました



たくさんの「しあわせワード」を共有する参加者

つくば市民大学・2016年最後は、「しあわせ」トークカフェでしめくくりました。自分の周りのしあわせをそっと掘り起こし、見つめるための対話の場&小さなティーパーティーです。それぞれが「しあわせだなあ」と思うコトを書き出し、共有するというプチワークショップでは、「ライブでハジける時」「家族とご飯を食べている時」「見知らぬ街を旅した時」など、たくさんのしあわせワードが出てきました。それらのワードを共有してみると、自分が思いがけずたくさんのしあわせに囲まれていることに気づくことができます。つらいことや頭にくることたくさんあるけれど、やはり世界は、人生は美しい、愛おしいものですね。みんながしあわせでいられるために、私に、私たちに何かできることってあるかな？ と、前向きになれたひとときでした。ワークショップのあとは、スタッフ手作りのスナックやケーキでティーパーティー。楽しくて、優しくて、おいしい夜でした。

国籍・アイデンティティを考えるワークショップ開催

11月13日、韓国にルーツを持つ姜咲知子(イェジン)さんによる話題提供、様々なワークショップを通して、国籍・アイデンティティについて話し合う「『私たち日本人』って、本当に『日本人』?」が開催されました。姜さんによる話題提供では、在日韓国人3世という自身のアイデンティティを模索して、自分を表す名前「イェジン」にたどり着いたお話をうかがい、「『在日の人たちについて、すべてを理解することはできないけれど、一緒に考えることはできる』という友人の言葉がうれしかった」という言葉が印象に残りました。参加者からは「アイデンティティとは、外にある属性・ラベルではなく、自分の中にあるマインドのことと思った」「アイデンティティは、周りがそれを承認・尊重することで存在できるのだと思った」などの感想が出され、最後に「考えるのをやめることが怖い、考え続けることが大切」というイェジンさんの言葉でしめくられました。



アイデンティティを探ることは他者への想像力をひろげること

「市民活動をパワーアップさせる調査・分析術」開講



調べたいテーマと自分なりの仮説を考え、言葉にする皆さん

メソドロジー学群の新講座。10月から月1で、NPO等で活動されている方々と、求められる市民活動づくりに生かす、調査・分析の基礎・心得を実践的に学びました。第1回は、「アンケート」について、回答者への配慮や問いの立て方などを、チェックリストをもとに振り返るところからスタート。毎回、講座後は調査を進めて来る、という課題付き。聞き取りの他、関連するテーマの文献をCiNiiデータベースなどで探して読むのもお勧め。第2回で、調査目的を明確にし、調査計画を立て、互いに聞き合い、ブラッシュアップ。第3回では、調査を元にアクション、提言するためには、誰に、どうやってするのが効果的なのか、絞り込んでいきました。調査はデータ収集だけでなく、「今・ここ」をより良い未来へと導くために、考え、調べ、まとめる、を繰り返すこと。市民活動での調査は調査者自身が実践者なので調べっぱなしにならない(はず)のがいいです!

つくば市民大学はこんな人たちがやっています！

～ 江塚晶子さん・徳田とこりさん ～



江塚晶子さん

「つくば市民大学はこんな人たちがやっています！」最終回は、会員のみなさんと市民大学をつなぐ最初の窓口、事務スタッフ二人の登場です。Web サイト管理、講座開催の運営サポート、各種事務作業、広報、お掃除、お買い物、盛り上げ役など、なんでもやります！ お気軽に声をかけてくださいね。



徳田とこりさん

●出身地

茨城県

●好きなこと

不思議な事、面白い事、感動する事との出会い

●市民大学に来る人達へのメッセージ

ともかく遊びに来て、講座に参加してみる。いろんな人たちとの出会いの中で、新しい自分を発見できると思いますよ。

●個人的な目標

絵本を一冊は世に出したいと思っています。

幸い近年、絵を描きますよと言ってくれる人達とは出会えました。あとは中身ですね。

●出身地

沖縄県

●好きなこと

マラソン、いけばな、ペイキング。マラソン歴は 8 年目。いまは視覚障害者とともに走る「伴走」活動をしています。洞峰公園で「伴走」と書かれたビブスをつけて走っています。見かけたら声をかけてくださいね。

●市民大学に来る人達へのメッセージ

人と人が出会うことで起こるすてきな化学反応をお楽しみください！

●個人的な目標

マラソンレースで 4 時間を切ること、100 キロマラソンを完走すること。その両方を達成するために、ダイエットを成功させること！

注目講座 ともに楽しむアートコモン・ラボ

言葉のキセキ～カンカクで紡ぐ物語～

「匂い」をテーマにともに楽しもう！

ふっとかいだ匂いから、昔の記憶が急によみがえった、なんて経験、ありませんか？

キンモクセイの花、おいしいパン、あの街の独特のにおい……。目には見えないけれど感じる事ができる「匂い」。視覚、聴覚優位の忙しい日々の中、意識することはあまりないかもしれません。

この講座では、視覚障害者というお立場からの美術鑑賞研究、各地の美術館でワークショップ実践をされている半田こずえさんと、「匂い」をテーマに活躍されているアーティストの井上尚子さんをお招きし、「かぐ」のみでなく、人が持っているいろいろな感覚を使って参加者同士言葉を紡いでいくワークショップで楽しめます。

つくばアーバンガーデニングさんの協力で、各種ハーブを摘み、その人だけの「香りの作品」を作るワークもあります。

カンカクはそのまま「その人らしさ」。それぞれの「同じ」と「違い」を探してみませんか？

■話題提供 半田こずえさん（筑波大学人間系助教）

井上尚子さん（美術作家）

■日時 2017年2月4日（日）13:30～16:30

■参加費 500円

※詳細は同封のチラシをご参照ください



代表幹事・徳田の「オススメの一冊」

水島治郎(著)『ポピュリズムとは何か』

(2016年12月・中公新書)

英国のEU離脱とトランプ米大統領誕生に揺らいだ2016年。絶妙なタイミングで出版された(といっても3年にわたって書き継がれたようですが)1冊です。副題の「民主主義の敵か、改革の希望か」が示す通り、ポピュリズムの功と罪の両面を、歴史を踏まえて存分に、そして分かりやすく示してくれています。

「ポピュリズムは、デモクラシーの後を影のようについてくる」。既存の政治から「ないがしろにされている」「置き去りにされている」と感じる人々が増えるほど、「さらに弱者を叩く」ポピュリズムの流れは加速します。2017年も欧州で重要な選挙が続きますが、「ポピュリズム」という語を耳にする機会は、さらに増えるのでしょうか。

日本でも、憲法改正をめぐる国民投票が実施される可能性が徐々に高まりつつあり、決して「対岸の火事」のように眺めているわけにはいきません。そんな中で印象的だったのが、2007年のスイス国民議会選挙において物議をかもし、白と黒の羊のポスターの話です(158ページ)。私たちが、いつの間にか「ほかの2匹の羊」になってしまうことのないように—。(徳田)

スタッフよりヒトコト

2017年は酉年。トリ(鶏)は、夜の闇から黎明を告げる鳴き声から、新たな時代を開く吉祥のシンボルとされ、酉年はなにか新しく物事を始め、挑戦するにはグッドタイミングの年だそうです。また、「酉」の字には「果実が熟してきた状態」という意味があり、「まいてきたものが実り、刈り取る時期」「努力が報われる時期」でもあるそうです。酉年の市民大学、これまで作り上げてきたまなびあいの場が実を結び、さらに大きく羽ばたいていきたいものです。(とこり)

つくば市民大学

〒305-0033 つくば市東新井 15-2 ろうきんビル 5階

TEL: 029-828-8891 Fax: 029-828-8892

e-mail: info@tsukuba-cu.net Twitter: @tsukuba_cu

web サイト・Facebook: 「つくば市民大学」で検索